

2006年9月5日

東日本旅客鉄道株式会社

京浜東北線・根岸線に新型電車を導入

—E233系直流電車—

首都圏の通勤電車については、昨年4月の山手線取替え完了、本年12月からの中央快速線取替え開始など新型電車の導入を進め、輸送安定性をさらに向上するとともに、車内情報案内装置による運行情報等の提供やバリアフリー化の推進といったサービス改善を行っています。

今回、それらの線区に引き続き、京浜東北線・根岸線に新型電車を導入します。

新型電車は、中央快速線と同様のE233系とします。この車両の特徴は次のとおりです。

- 電気機器や保安装置など主要機器を二重系化し、ひとつの機器が故障した場合でも運転継続を可能とし、輸送障害を低減します。
- 優先席を含む車両端の荷棚、吊手高さの変更、優先席エリアの明確化等のユニバーサルデザインの採用により人にやさしい車両とします。
- 床面高さを低くしてホームとの段差を縮小し、バリアフリー化を推進します。
- 情報案内装置を各ドア上に設置して運行情報やニュース等を表示します。

1. 新造両数 830両
2. 投入時期 2007年秋頃から順次営業運転に使用する計画です。
3. 車両の運用 京浜東北線・根岸線 大宮～横浜～大船
4. 車両の概要 別紙参照

京浜東北線 E 2 3 3 系車両の概要

【コンセプト】

故障に強い車両

(輸送障害の低減)

○主要機器の二重系化

- ・1つが故障しても通常走行

人に優しい車両

(高齢者、女性、身障者などへの配慮)

○ユニバーサルデザイン、バリアフリー

- ・優先席の荷棚、吊手高さの低下 (各 50mm)
- ・優先席エリアの明確化
- ・点字表記 (ドア部)
- ・床面高さの低下 (ホーム段差 80mm→30mm)
- ・つかみやすい握り棒形状

○快適な空調、腰掛

- ・全自動空調によるきめ細かな車内温度調整
- ・空気清浄機の設置
- ・腰掛幅の拡大 (450mm→460mm)
- ・抗菌吊手

情報案内機能等を向上した車両

○情報案内の充実

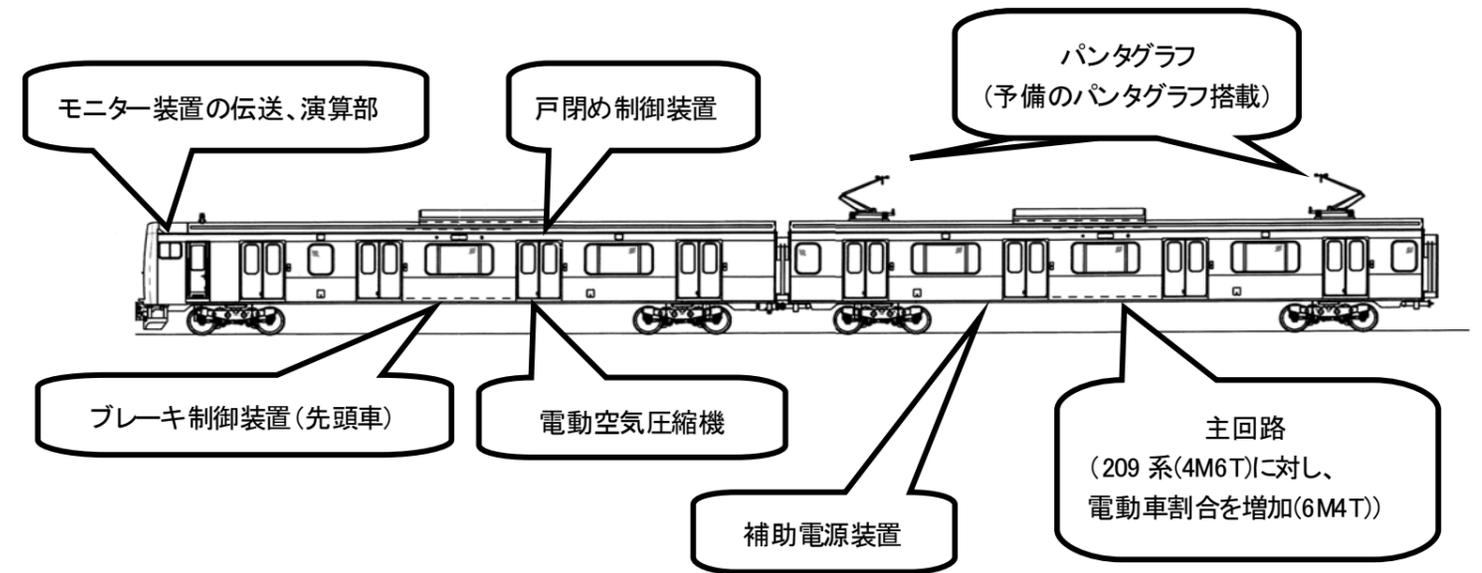
- ・車内:液晶画面による運行情報、ニュース等の表示
- ・車外:フルカラー行先表示器

○ステンレス拡幅車体の採用による混雑緩和

- ・ライトブルーのラインを踏襲

車体強度の向上

【主要機器の二重系化】



【外観】



【優先席部】



【諸元比較】

形式	E233 系	209 系
編成	10 両 (6M4T)	10 両 (4M6T)
車体	ステンレス(拡幅車体)	ステンレス(ストレート車体)
標準定員	1480 人	1400 人
床面高さ	1130mm	1180mm

【209系】

